

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
日本国憲法	2	前期	講義	2	関口 晃治
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>この講義では、法律の中でも最高法規である日本国憲法の内容を手掛かりにして、私たちと法との関係を理解できるようになることを目標としています。</p>					
<p>○授業の概要</p> <p>日々の生活で意識していませんが、私たちは生活のあらゆる場面で法律にかかわって生活しています。そこで、私たちの生活と法律がどのように関連しているのか、具体的な事例を挙げながら説明していきたいと考えています。法律の存在を知ることは日常の生活を送るうえでもとても大切なことです。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回 憲法とは何か（授業のガイダンスと、法と社会について）</p> <p>第2回 日本国憲法の成立としくみ（日本国憲法の成立過程と基本的な仕組みについて）</p> <p>第3回 国民の権利と義務（国民の概念と、基本的義務について）</p> <p>第4回 自由権 ①（精神的自由について（表現の自由、学問の自由、信教の自由））</p> <p>第5回 自由権 ②（経済的自由について（居住、職業選択の自由、財産権の自由））</p> <p>第6回 自由権 ③（人身の自由について（不法に逮捕されない、勾留されない））</p> <p>第7回 自由権 ④（裁判員裁判の仕組みと、その意義について）</p> <p>第8回 社会権（生活権について（教育を受ける権利、勤労の権利））</p> <p>第9回 法の下での平等（法適用の平等と法内容の平等について（家族生活における平等））</p> <p>第10回 新しい人権（プライバシーの権利について（新しい社会生活で生じる権利））</p> <p>第11回 参政権（選挙権の保障と投票価値の平等について）</p> <p>第12回 代表民主制の原理と機構（直接民主制と議院内閣制について）</p> <p>第13回 平和主義（戦争の放棄と戦力不保持原則について）</p> <p>第14回 憲法の改正（憲法改正の手續と日本国憲法の将来について）</p> <p>第15回 まとめ（これまでのまとめと試験）</p>					
<p>○テキスト</p> <p>毎回配布する資料</p>					
<p>○参考書・参考資料等</p>					
<p>○学生に対する評価</p> <p>定期試験60% 受講態度、講義への参加態度30% 授業課題10%</p>					